

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問ごとのねらい

- ① 言葉は、われわれの伝達や認識、思考の道具であると同時に、自由な認識、思考を規制すると述べ、言葉の両義性を把握することの重要性を指摘した説明的な文章によって、文脈に即しての読み取りや、文章構成を意識しつつ筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを適切に表現する力をみる。
- ② 芭蕉、蕪村の俳句や「徒然草」、漢詩「尋胡隱君」を利用して、日本古来の美意識である「ゆかしさ」について考察した文章によって、古典の内容やそれに関連した現代文の理解の程度、及び日本の美意識の一つである「ゆかしさ」についての筆者の考えをまとめ、それを表現する力をみる。
- ③ 友人のことが気にかかっている受験生の娘と、その娘をある距離をおいて見守る母親の姿を描いた文学的文章によって、娘が次第に成長し淡々とした母の愛情のあり方に気づいてゆく様子を、小学校3年生の時のエピソードと重ね合わせつつ、表現に着目して読み取り、それを適切に表現する力をみる。